

2023年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 半田商工会議所

| 事業名 | 事業概要（背景・目的） | 事業実績 | 主たる対象者 | 事業評価 | | | | | | | | | | 今後の展開・改善点等 | 備考 | |
|-----------------------|--|---|----------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|---|-----------|-----------|-------------------------|-----------------------|----------|------|--------------|--------------|--|----|
| | | | | 目標① | | 目標② | | 得られた効果 | A B C D 評価 | | | | 目標 | | | |
| | | | | 目標数値 | 実績数値 | 目標数値 | 実績数値 | | 総合評価 | 実施評価 | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | | | 補足 |
| 巡回・窓口相談指導事業 | 小規模事業者の創業・経営革新へ積極的な支援・促進を実施すべく、窓口での相談指導や巡回相談指導により各事業所に対し伴走型支援を行う。 | ・巡回相談指導 実事業所数 548事業所 延件数 1,441件 ・窓口相談指導 実事業所数 407事業所 延件数 896件 ・課題解決提案件数 59件 ・経営革新承認件数 1件 | 小規模事業者 | 指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 116.9 %) | 指標 課題解決提案件数 (達成度 118.0 %) | 各種制度改正・補助金等、小規模事業者の体質改善支援並びに各種施策普及を行う事ができた。 | 総合評価 A | 実施評価 A | 自己評価 A 目標達成度 A | 調査結果 A 必要性 A | 満足度 A | 補足 | 目標① 現行どおり | 目標② 現行どおり | より多くの事業所の課題を把握し、解決提案する事業計画策定ができるよう伴走型支援に注力していく。 | ○ |
| 記載継続指導 | 個人小規模事業者の自主記帳能力を養成し、小規模事業者の経営改善に資することを旨とし、記帳から決算申告に至る一貫した記帳継続指導を行う。また、希望される全案件に対し電子申告対応していく。 | ・指導事業所数 61事業所 ・指導延日数 551日 ・指導延回数 653回 ・電子申告事業所数 53事業所 | 小規模事業者 | 指標 指導事業所数 (達成度 101.7 %) | 指標 指導延回数 (達成度 98.9 %) | 経理事務の省力化の他、売上状況や経費等の速やかな把握により、経営改善策決定等の方向性・営業方針の決定等に有効であった。また、電子申告希望の事業者にはマイナンバーカードを利用して電子申請も行う事ができた。 | 総合評価 A | 実施評価 A | 自己評価 A 目標達成度 A | 調査結果 A 必要性 A | 満足度 A | 補足 | 目標① 下げる | 目標② 下げる | 機械的に毎月帳簿入力をするだけでなく、試算表から見えてくる数値を事業所へ理解してもらうような指導をしていく。 | |
| 講習会等 | 小規模事業者の経営知識の普及と経営の安定を図るため、集団講習会を開催する。個別講習会では、専門家による課題解決や事業計画策定・実行支援への助言・指導を行う。 | ・集団指導 計10回 受講者148人（全体211人）（内経営革新1回・6人） ・個別指導 計83回 受講者225人（全体243人） | 小規模事業者 | 指標 集団指導年間受講者数 (達成度 87.1 %) | 指標 個別指導年間受講者数 (達成度 387.9 %) | 集団指導は、地域中小・小規模事業者のニーズ（特にインボイス制度）に応え、受講者には今後の経営安定の一助に繋がった。また、個別指導は、小規模事業者が抱える問題点、特に今年度はインボイス制度に関する課題について専門家を交えた解決策を見出し、事業計画策定など経営安定に資することができた。 | 総合評価 A | 実施評価 A | 自己評価 A 目標達成度 A | 調査結果 A 必要性 A | 満足度 A | 補足 | 目標① 下げる | 目標② 上げる | 人手不足解消や賃上げの原資確保を目指した実益につながる内容や、ITやDXなどの講習会を実施し、小規模事業者の満足度を向上させる。個別講習会は、相談需要が高く目標値を上げる。 | |
| 創業支援 | 創業希望者及び創業5年以内の小規模事業者の知識習得、創業計画策定を支援することで、事業者のスムーズな開業を促し、地域経済の活性化と雇用の維持を図る。 | ・産業競争力強化法に係る創業支援事業の実施 ・創業窓口相談（巡回相談含む） 延べ件数57件 ・起業家支援セミナー開催 4日間×6時間 受講者数 26人 ・ハンズオン支援 4件 | 創業希望者及び創業後5年以内の小規模事業者 | 指標 創業相談延べ件数 (達成度 95.0 %) | 指標 起業家支援セミナー受講者数 (達成度 130.0 %) | 支援機関だけではなく、行政も創業支援を重視しており、通関・事業者数の自然減を抑えとともに地域の活力づくりに繋げている。また、コロナの影響も落ち着いたことから、創業者の意欲は高く、創業計画作成を機とした継続的な伴走型支援を実施することにより、創業者の安定的な経営及び活性化に対応できる経営力の向上に繋がった。 | 総合評価 A | 実施評価 A | 自己評価 A 目標達成度 A | 調査結果 A 必要性 A | 満足度 A | 補足 | 目標① 現行どおり | 目標② 現行どおり | ニーズの高い創業支援については、内容をブラッシュアップし、継続して実施していく。また、経営発達支援計画に基づいた事業を実施し、創業支援数、参加者数を増やしていく。 | ○ |
| 青年部・女性部事業 | 青年部では、若手経営者・後継者・幹部職員等が、研修や商工会議所活動への参加、協力を進めて地域経済、地域社会の発展に貢献する。また、これらの事業を通じ、会員相互の連携と人脈作りを繋げる。女性会では、会員の資質向上を図るとともに、街の活性化に積極的に取り組む。 | 【青年部】会員参加率 75% ・総会3回（4月、5月、10月） 99%※出席の委任状含む ・役員会12回（毎月） 99% ・研修会及び現場研修 28日 【女性会】会員参加率 67% ・総会1回（4月） 79% ・役員会12回（毎月） 83% ・その他事業開催 40% | 小規模事業者等における若手経営者（若手経営者等）並びに女性経営者 | 指標 青年部会員参加率 (達成度 150.0 %) | 指標 女性会会員参加率 (達成度 134.0 %) | 青年部は子ども育成事業や地域活性化事業、国際交流事業など、ITやIT&Eを高度なスキルに活用した事業に参画した会員は、フォースタッフとなり得る活動ができた。女性会は会員交流事業や子ども支援事業を通じて、会員相互の相乗効果を生み出すことのできる活動ができた。 | 総合評価 A | 実施評価 A | 自己評価 A 目標達成度 A | 調査結果 A 必要性 A | 満足度 A | 補足 | 目標① 現行どおり | 目標② 現行どおり | 積極的な事業展開をし、より会員の参加率を高めることともに、資質向上に努める。 | |
| 若手後継者等育成事業（視察研修会） | 先進地視察と講演会を通じて得た情報を自社にフィードバックすることで、自社企業の発展、BCPIにも広がるものとなり、今後の青年部活動を盛り上げるものとする。 | 先進地視察と講演会 ・時期：令和5年9月24日（日） ・参加予定人数：半田商工会議所青年部会員34名 ・場所：静岡県熱海市 ・視察先：伊豆山土石流災害現場 ・研修：高橋一美氏（NPO法人テックアカデミー） ・アンケート調査結果 100%（満足度） | 会員事業所の若手経営者・後継者・幹部職員 | 指標 事業参加者数 (達成度 68.0 %) | 指標 アンケート調査結果 (達成度 125.0 %) | 「実際に被災現場をみて、防災に対して、どのように現実化していくかがわかった」、「今後の意識の持ち方や心構えに違いが出ると思う」など、防災意識を改めるきっかけとなった。 | 総合評価 A | 実施評価 A | 自己評価 B 目標達成度 B | 調査結果 A 必要性 A | 満足度 A | 補足 | 目標① 廃止 | 目標② 廃止 | 令和6年度の若手後継者等育成事業としては、一般公開型事業の実施を予定しているため、目標・実施方法ともに変更する。 | |
| 若手後継者等育成事業（全国会長研修会参加） | 地域経済を担うリーダーとしての資質向上と意識高揚を図るとともに、熱意ある会員（次代を担うリーダー候補者）も参加することで、各々が所属する青年部単位の課題等について、同じ立場の者同士で意見交換を行うとともに、時流に合った政策提言などについても学ぶ。 | 日本商工会議所青年部第41回全国会長研修会（山海の美園 こうち会議） ・日程 令和5年11月17日（金）～18日（土） ・場所 高知県高知市内 ・事業参加者数 7人（オンライン含む） ・アンケート調査結果 100%（満足度） | 会員事業所の若手経営者・後継者・幹部職員 | 指標 アンケート調査結果 (達成度 100.0 %) | 指標 アンケート調査結果 (達成度 %) | 各単位の課題や対応について話し合い、今後の青年部活動に反映できる大変有意義な意見交換ができた。また、大規模イベントの企画運営という観点でも体験談等を聞くことができ、今後の青年部活動に役立つ情報を得ることができた。 | 総合評価 A | 実施評価 A | 自己評価 A 目標達成度 A | 調査結果 A 必要性 A | 満足度 A | 補足 | 目標① 廃止 | 目標② 廃止 | 令和6年度の若手後継者等育成事業としては、一般公開型事業のみ実施を予定しているため、目標・実施方法ともに廃止する。 | |
| 若手後継者等育成事業（視察研修会） | 発展途上国の健康面や収入に貢献し、グローバルで差別的な活動をしている企業の代表者から講演をいただき、今後の女性会としての活動のヒントを得る機会にする。また、同じ知多地域に事業所を構えるもの同士、今後情報交換しあえる関係を築きつつっていく。 | 狭く女性経営者の会社訪問 ・時期：令和5年11月15日（水） ・参加人数：半田商工会議所女性会会員18名 ・場所：家田製菓 住所：知多群南多町大字豊丘山田37 ・講師：家田穂子（家田製菓株式会社代表取締役社長） ・アンケート調査結果 93.8%（満足度） | 女性会会員 | 指標 事業参加者数 (達成度 69.2 %) | 指標 アンケート調査結果 (達成度 117.3 %) | 講師である家田穂子氏の講義を受け、参加者はその前向きな性格と行動力に感銘を受けた。また、自身の事業においても今後の社会貢献のヒントとなる内容であり、女性会としても導入としても前向きになるきっかけとなった。 | 総合評価 A | 実施評価 A | 自己評価 B 目標達成度 B | 調査結果 A 必要性 A | 満足度 A | 補足 | 目標① 廃止 | 目標② 廃止 | 令和6年度の若手後継者等育成事業としては、全国大会の出席を予定しているため、目標・実施方法ともに変更する。 | |

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

2023年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 半田商工会議所

| 事業名 | 事業概要（背景・目的） | 事業実績 | 主たる対象者 | 事業評価 | | | | | | | | | | 今後の展開・改善点等 | 備考 | | | | | |
|------------------|--|---|---------------|-------|--------------------------------------|------|-------|----------------------------------|------|--|------|------|------|------------|---------------|-----|-------|-------|-----|--|
| | | | | 目標① | | 目標② | | 得られた効果 | | A B C D 評価 | | | | | | | | | | |
| | | | | 指標 | 実績 | 指標 | 実績 | 自己評価 | 調査結果 | 自己評価 | 調査結果 | 自己評価 | 調査結果 | | | | | | | |
| 若手後継者等育成事業（セミナー） | 会員事業所の中で、子ども達へ何か支援をしたいと考えている方を受講対象者として、今、必要とされている支援とは何か、企業ならではの支援とは何かを見つけてもらうキッカケづくりを目的とする。 | 子ども支援セミナー ・令和5年7月8日（土） ・テーマ 地域事業者ができる子ども支援、教育について ・参加対象 半田商工会議所女性会会員、一般会員 ・事業参加者数 154人 ・アンケート調査結果 99%（満足度） | 女性会会員並びに一般会員等 | 指標 | 事業参加者数 (達成度 128.3 %) | | 指標 | アンケート調査結果 (達成度 123.8 %) | | 当会ではフードドライブを通じての支援を行っているが、子ども食堂に関わる参加者も多く、「居場所」としての子どもの食意を大きく感じる声も多かった。参加者の横のつながりもでき、子ども支援を通じて地域が一丸となる大切さを学んだ。 | | 総合評価 | A | 自己評価 | 調査結果 事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 令和6年度の若手後継者等育成事業としては全国大会付随のセミナーのみ実施予定のため、目標・方法ともに変更する。 |
| | | | | 目標数値 | 120 | 実績数値 | 154 | 目標数値 | 80 | 実績数値 | 99 | | | A | | 必要性 | 廃止 | 廃止 | | |
| | | | | 目標達成度 | A | A | 廃止 | 廃止 | | | | | | | | | | | | |
| 商店街・街づくり事業 | 市内商店街の衰退が進み、中心市街地の活気が無くなってきている。そこで、商工会議所、中心市街地3商店街、市商連、櫛はんだ賑わいビル開発、櫛トローフ・アバンセの7団体を中心となり賑わい創出をし、まちづくりと市内商店街・中心市街地の活性化を推進する。 | 半田市商業施設助成事業利用：7事業所 半田市中心市街地商業活性化にぎわい事業参加店舗数：103店舗 はんだ商業まつり事業参加店舗数：21店舗 | 中小・小規模事業者 | 指標 | 半田市商業施設助成事業利用事業所数 (達成度 70.0 %) | | 指標 | にぎわい事業参加店舗数 (達成度 206.0 %) | | 半田市商業施設助成事業では、目標数値には届かなかったが、昨年度より利用事業所数は2件増加した。アフターコロナにおいて、中心市街地を中心に市内の商業活性化に寄与できた。 | | 総合評価 | A | 自己評価 | 調査結果 事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 商業施設助成事業は予算枠が維持されるため、目標件数のみならず、予算消化達成に努める。にぎわい事業の参加店舗について、共通販促事業は、ほとんどの商店街会員が参加しており、目標値を上げる。 |
| | | | | 目標数値 | 10 | 実績数値 | 7 | 目標数値 | 50 | 実績数値 | 103 | | | A | | 必要性 | 現行どおり | 上げる | | |
| | | | | 目標達成度 | A | A | 現行どおり | 現行どおり | | | | | | | | | | | | |
| 観光振興・醸すブランド化事業 | 「醸造業」と「醸造文化」に着目した取り組み「醸-KAMOSU-事業」により、賑わいの創出と販売拡大を促し、小規模事業者の振興と経営安定を図る。 | ・with Chita-Shu事業 参加事業所数 17事業所 | 中小・小規模事業者 | 指標 | 事業参加事業所数 (達成度 121.4 %) | | 指標 | (達成度 %) | | 地域資源の「醸造」を活かした食関連事業は、市民をはじめ、当地を訪れる観光客への発信と連携に繋がった。また、市外でのPRにも積極的に努め、地域資源の発信となった。 | | 総合評価 | A | 自己評価 | 調査結果 事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 引き続き事業者の意識づくり、意識向上を図る取り組みを実施し、参加事業者数の更なる向上に努める。 |
| | | | | 目標数値 | 14 | 実績数値 | 17 | 目標数値 | | 実績数値 | | | | A | | 必要性 | 現行どおり | | | |
| | | | | 目標達成度 | A | A | 現行どおり | | | | | | | | | | | | | |
| 商談会・ビジネスマッチング事業 | 展示会や商談会により、市内事業者の販路拡大を図る。また、金融機関等との連携を強化し、食のビジネスフェア「あいち知多半島メッセ」に取り組み。 | アライアンスパートナー発掘市2023 (7/3~7/7)：参加事業所数15社 商談確定件数69件 メッセナゴヤ2023 参加事業所数2社 食のビジネスフェアあいち知多半島メッセ2024 出展事業所数37社 半田のこだわり食品フェア 出展事業者数 12社 三河・知多商談会（発注企業2社、受注企業3社） 東京インターナショナルギフト・ショー 参加事業所数2社 | 中小・小規模事業者 | 指標 | アライアンスパートナー事業商談確定件数 (達成度 345.0 %) | | 指標 | 食のビジネスフェア出展事業所数 (達成度 105.7 %) | | 商談会に市内事業者が参加することにより、市外の新たな取引先を開拓することができた。また、今年度新たに名古屋市内での展示会を実施し、さらに東京での展示会へも参加を行い、参加事業所からは販路拡大に繋がったとして好評を得た。 | | 総合評価 | A | 自己評価 | 調査結果 事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 引き続きアライアンスパートナー発掘市、食のビジネスフェアの取り組みを継続し、中小・小規模事業者の販路拡大に寄与する。都市圏での展示会開催及び出展について、運用方法を再検討し、継続実施の方向性を定める。 |
| | | | | 目標数値 | 20 | 実績数値 | 69 | 目標数値 | 35 | 実績数値 | 37 | | | A | | 必要性 | 現行どおり | 現行どおり | | |
| | | | | 目標達成度 | A | A | 現行どおり | 現行どおり | | | | | | | | | | | | |
| 部会・委員会事業 | 企業ニーズに合った事業企画を実施し、事業所の発展に寄与する。部会・委員会の会議並びに研修会等を通じて事業所間での異業種交流も図られ、経営改善事業との相乗効果が見込まれる。 | 部会：会議34回、事業12回 委員会：会議18回、事業6回 | 中小・小規模事業者 | 指標 | 会議・事業実施回数 (達成度 116.7 %) | | 指標 | (達成度 %) | | 部会・委員会活動を通じて、地域や中小・小規模事業者の支援になる事業が実施できた。 | | 総合評価 | A | 自己評価 | 調査結果 事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 部会・委員会事業を通じて小規模事業者の支援に繋がっている。 |
| | | | | 目標数値 | 60 | 実績数値 | 70 | 目標数値 | | 実績数値 | | | | A | | 必要性 | 現行どおり | | | |
| | | | | 目標達成度 | A | A | 現行どおり | | | | | | | | | | | | | |
| 検定等支援事業 | 各種検定試験を実施し、地域の人材育成を支援するほか、地域社会に貢献する。 | 検定試験の開催 ・珠算3回、簿記3回、リテールマーケティング臨時 ・検定受験者数：合計1,975人（内訳） ・簿記リアル222人、ネット1,233人 ・珠算等467人 ・リテールマーケティング53人 | 中小企業従業員や一般市民 | 指標 | 検定受験者数 (達成度 131.7 %) | | 指標 | (達成度 %) | | 検定試験の受験様式が、リアルでの統一試験からネットでの随時試験に移り変わっている中でも、各種日商試験を通して、人材育成に貢献出来た。 | | 総合評価 | A | 自己評価 | 調査結果 事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 目標数値は据え置き、地元商業高校生に向けた日商団体受験や、個人で気軽に受けられるネット試験などの情報提供に努め、管内での受験者数増加を目指す。 |
| | | | | 目標数値 | 1500 | 実績数値 | 1975 | 目標数値 | | 実績数値 | | | | A | | 必要性 | 現行どおり | | | |
| | | | | 目標達成度 | A | A | 現行どおり | | | | | | | | | | | | | |
| 福利厚生事業 | 中小・小規模事業者の健全な経営、雇用を図るため、各種共済制度を普及し福利厚生の充実を図る。 | 年2回実施する「あおぞら共済加入促進キャンペーン」を中心に、1年間の共済新規加入者数：226人 | 中小・小規模事業者 | 指標 | あおぞら共済新規加入者数 (達成度 251.1 %) | | 指標 | (達成度 %) | | あおぞら共済加入促進キャンペーンを通して、従業員の福利厚生制度の提案ができ、共済新規加入226人に繋がった事ができた。 | | 総合評価 | A | 自己評価 | 調査結果 事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 今後もキャンペーンを実施し、より多くの事業所へあおぞら共済の加入を勧めたい。今年度の実績を鑑み、来年度の目標を上げる。 |
| | | | | 目標数値 | 90 | 実績数値 | 226 | 目標数値 | | 実績数値 | | | | A | | 必要性 | 上げる | | | |
| | | | | 目標達成度 | A | A | 現行どおり | | | | | | | | | | | | | |
| 労働保険事業（労働保険事務組合） | 事業主に代わって各種届出等労働保険の事務を処理することで中小企業事業主の事務負担を軽減するとともに、労働保険の適用促進及び各種制度の推進を図る。 | 小規模事業主の労働保険事務の代行 ・委託事業場数 280事業場 | 小規模事業者 | 指標 | 委託事業場数 (達成度 101.8 %) | | 指標 | (達成度 %) | | 労働保険に関する事務処理の軽減と、適正な手続きを行う事ができた。 | | 総合評価 | A | 自己評価 | 調査結果 事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 今後も継続して周知を行い、労働保険事務組合受託事業所数を維持する。 |
| | | | | 目標数値 | 275 | 実績数値 | 280 | 目標数値 | | 実績数値 | | | | A | | 必要性 | 現行どおり | | | |
| | | | | 目標達成度 | A | A | 現行どおり | | | | | | | | | | | | | |

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

2023年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 半田商工会議所

| 事業名 | 事業概要（背景・目的） | 事業実績 | 主たる対象者 | 事業評価 | | | | | | | | | | | 備考 | | | | | |
|-----------|---|---|-----------|---|------|------------|--------------------|------|-----------------------------------|--|-----------|-------------------------|---------------------------|---------------------------|----------|--------------------------------|--------------------------------|---|---|---|
| | | | | 目標① | | | 目標② | | | 得られた効果 | A B C D評価 | | | | | 今後の展開・改善点等 | | | | |
| | | | | 指標 | 実績数値 | 達成度 | 指標 | 実績数値 | 達成度 | | 総合評価 | 事業評価 | 自己評価 | 調査結果 | | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | |
| 産業団体等指導事業 | 小規模事業者主体の団体への組織運営手法などの指導を通じ、参加組合員の経営改善の一助とする。 | 各団体会議・事業 ・半田市商店街連合会18回 ・衣浦港振興会8回 ・日東会10回 ・潮干会14回 | 各種団体の会員 | 指標 会議・事業実施回数 (達成度 166.7 %) | 30 | 実績数値 50 | 目標 (達成度 %) | | 地域社会に対する貢献、各団体の強化と事業所の経営力強化が図られた。 | 総合評価 A | 事業評価 A | 自己評価 A 目標達成度 A | 調査結果 事業者への 必要性 A | 満足度 A | 補足 | 目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり | 目標② | 各団体と連携し、小規模事業者に必要な事業を開催し、経営力の強化を図るとともに、地域活性化の一翼を担う。 | | |
| 調査・広報事業 | 経営状況を取り巻く変化に対応するため、地域の動向・情報を円滑に提供する。会報誌『カイギョゲッポウ』、メールマガジン、公式LINE等による情報発信により、事業者の経営の方向性を決定する一助を担う。 | ・景気動向実態調査 調査先60事業所 ・中小・小規模事業者の振興に資する広報誌（月刊）の発行 ・インターネットやSNSを活用した情報提供 ・公式LINEアカウント友だち登録数 274人 | 中小・小規模事業者 | 指標 景気動向実態調査 調査事業所数 (達成度 100.0 %) | 60 | 実績数値 60 | 目標 (達成度 91.3 %) | 300 | 公式LINEアカウント 友だち登録数 274 | 景気動向実態調査によって地域の経済情勢を把握するとともに、インボイス制度や電子帳簿保存法などの重要な施策を会報誌や各種ツールを使って情報提供できた。 | 総合評価 A | 事業評価 A | 自己評価 A 目標達成度 B | 調査結果 事業者への 必要性 A | 満足度 A | 補足 | 目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり | 目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり | 景気動向実態調査については、一部の対象事業所を入れ替え継続していく。LINE公式アカウントについては目標は変えず、発信数を増やすことで必要なツールとなるよう改善していく。 | ○ |

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。